



蛾に魅せられて 山崎 賢治さん

山崎さんは蛾を研究して40年。採集された標本の中には、現在、滋賀県のレッドデータブックに掲載されている「ウスイロキシタバ」など貴重な資料も含まれます。水口町のご自宅を訪ね、蛾にかけの思いをお聴きました。

■なぜ蛾の研究を始められたのですか？

日本国内には、蝶が250種あまり分布していますが、同じ鱗翅目に属する蛾は3000種以上に及びます。一般的には敬遠されがちですが、まだ調査研究の余地があり新たな種類や未知の部分が見つかるかもしれない — そんな蛾の奥深さに魅力を感じ研究を始めました。

■どのようなことを調べてこられたのですか？

主に鈴鹿山脈の滋賀県側で蛾の分布状態を調べてきました。これまでに採集した標本は、850種1000体以上になります。それらの大半は、みなくち子どもの森へ寄託して保管、活用してもらっています。

■研究を通じて感じていることは？

3年ほど前、九州南部や沖縄地方に生息する蛾を自宅付近で発見し、目を疑うほどびっくりしました。地球温暖化の影響ではないかと思います。蛾の研究を通じて環境の変化を感じています。

■これからの活動は？

子どもが自然の中で動植物と触れ合う機会が減っています。ボランティアとして子どもたちの自然観察などを手伝っていければと思っています。

今では昔のように標本採集に走り回るエネルギーはないとおっしゃる山崎さん。でも車のトランクには、いつでも虫取り網が乗せてあるそうです。蛾への情熱が冷めることはありません。



ピンク色に染まった日差しの中で

鮎河小学校お花見給食

市内の代表的な桜の名所、うぐい川河畔で4月10日、地元の鮎河小学校全校児童20人が、「お花見給食」を楽しみました。

同校の卒業記念などにより植樹されてきた200本余りの桜は、地域ぐるみの世話が行き届き、満開の下で給食の時間を過ごすのは同校の恒例行事となっています。

児童たちは、ピンク色に染まった日差しの中で、赤飯や桜かまぼこのすまし汁など、お花見にぴったりの特別メニューに舌鼓を打っていました。



◀お花見給食を楽しむ鮎河小児童

消防団活動の基礎を学ぶ

消防団初任者研修

消防団初任者研修が4月12日、13日の両日、甲賀消防本部などで行われ、新規入団者ら115人が消防団活動の基礎的な知識や、ポンプ操作、救命法などの実技を学びました。

初めは不慣れな動作に戸惑っていた受講生も、消防署員や先輩団員から指導を受けながら真剣に練習を繰り返していました。

今後は、それぞれが所属する班で地域防災の要として献身的な活動を行っていただきます。

▼ポンプ操作の基本を指導



当日は、満開に咲き誇った桜の下、ステージイベントや模擬店、フリーマーケットなども開催され、旧病院は久しぶりに多くの来訪者で賑わいました。



▲賑わいをみせた旧甲賀病院と満開の桜

この後、参加者全員が、「交通安全かくにんじや」の掛け声を高らかに上げ、買物客や通行車両へ交通安全の徹底を呼びかけました。



▲死亡事故ゼロを目指した啓発活動

また、8人の在校生は、伝統のオペレッタで培った歌とダンスを披露し、新入生を歓迎しました。

総勢9人によるオペレッタを見られる日が今から待ち望まれます。



▲歌とダンスで新入生を歓迎

旧甲賀病院に思いを馳せて

公立甲賀病院さくら祭り

昨年、水口町松尾地先に新築移転し、現在は閉鎖されている旧甲賀病院の正面駐車場が1日限定で解放され、甲賀病院さくら祭りが4月5日、開催されました。

長年にわたり地域住民の医療と健康を支えてきた旧病院と地域の人々に親しまれてきた桜に思いを馳せようと、同病院に勤務する5人の若手職員の発案で、医師、看護スタッフ、事務職員など職種の枠を超えた144人の賛同者が集まり、実行委員会による手作り準備が進められ、この日の開催を迎えました。

交通死亡事故ゼロを目指して

春の全国交通安全運動オープニング式

4月6日から始まる春の全国交通安全運動のオープニング式が、市内の量販店駐車場で4月4日、開催されました。

甲賀警察署管内では今年に入り、交通死亡事故多発警報が発令されるなど事故が相次ぎ、既に7名が亡くなりました。

挨拶に立った村井署長は「事故件数は減少傾向にあるものの、死亡事故が多発している。この運動を機会に地域の方の交通安全意識を高めていきたい」と、交通死亡事故ゼロへ向けた決意を述べました。

小さな小学校に大きな希望を抱いて

多羅尾小学校入学式

市内の小学校で4月8日、入学式が行われました。このうち多羅尾小学校では、他の通学区から小規模校に通うことができる「特認校制度」を利用し、福西顕正さんが新生に加わりました。

昨年行われた見学会に参加して多羅尾小学校が気に入りに、ぜひ入学したいとの思いが叶った顕正さんは、自分の氏名が読み上げられると、元気に「はい」と返事をし、出席者からのお祝いの言葉に対しては「ありがとうございます」と大きな声でお礼を言っていました。

また、8人の在校生は、伝統のオペレッタで培った歌とダンスを披露し、新入生を歓迎しました。